

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	我が家の環境大臣事業		担当部局庁	総合環境政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度開始		担当課室	環境経済課環境教育推進室		環境教育推進室長代行		
会計区分	一般会計		施策名	8-4 環境教育・環境学習の推進				
根拠法令(具体的な条項も記載)			関係する計画、通知等					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	持続可能な社会を構築するために必要となる、国民一人ひとりの自発的な環境保全活動、特に生活の基盤である家庭における環境教育・環境保全活動を推進することを目的とする。主に、2020年までに1990年比で温室効果ガスを25%削減する目標達成のためにあらゆる手段を活用する必要がある中、喫緊の課題となっている家庭部門からのCO2排出削減のため、「環境家計簿」の普及などを図っている。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	環境に配慮した取組を行うことを宣言する家庭を「エコファミリー」、その家庭の代表者を「我が家の環境大臣」として登録し、家庭での取組を推進するための支援を行う。具体的には、インターネットによる支援として、ウェブサイトからエコファミリーとして登録された家庭に対し、家庭でのCO2排出量を目に見えて実感してもらうための「環境家計簿」の提供や各家庭における取組の紹介といった情報交換を行うウェブサイト上での場の提供等を行う。また、全国の家から、自らの家庭においても取り組んだ活動の内容や成果を「我が家の『eco宣言☆』」として募集し、特に他の家庭においても参考となる活動については、その活動をウェブ上で広く全国に発信し、家庭における自発的取組の推進を図る。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	67	61	58	0	-	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	67	61	58	0	-	
	執行額	61	57	53				
執行率(%)	91%	93%	91%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(27年度)	
	我が家の環境大臣参加・登録数50万世帯(目標年2015年)		成果実績	世帯	77,276	133,920	153,905	500,000
	日本の全世帯5,000万世帯のうち、家族世帯は約2,000万世帯であり、50万世帯とは、学校の平均的な1学級40人クラスに1人		達成度	%	15.4	26.7	30.8	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	サイト訪問者数		活動実績(当初見込み)	回	-	719,739	624,014	-
単位当たりコスト	359 (円/世帯)		算出根拠	平成22年度我が家の環境大臣事業予算額55,319,000円を同年我が家の環境大臣参加・登録世帯153,905世帯で除したものの。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計	-	-					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	△	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	平成22年度行政刷新会議において、環境教育の必要性は認められたものの、普及程度は低く、地方でも実施可能と整理された。
	△	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	△	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	成果実績は着実に向上していたが、平成22年度行政刷新会議において、効果が不明確であると整理された。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	△	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	△	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成22年度行政刷新会議における「廃止」の結果を受け、平成22年度をもって事業を終了した。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	事業仕分けでの廃止判定を踏まえ、22年度限りで廃止。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成22年度限りで廃止とする。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>【事業情報】 事業仕分け第3弾 事業番号8－(2) 我が家の環境大臣事業</p> <p>【WG評価結果】 廃止</p> <p>【とりまとめコメント】 本事業の評価者12名のうち、廃止が11名、予算要求縮減が1名、その1名は半額縮減であった。環境教育そのものは必要だがこの数年間の成果、あるいは公開プロセス以降の環境省の姿勢を見るにつけ、成果・効果が不明であり、必然性がなく、手段についてもきちんとした検証が行われていないと思われる。また、事業として税金を使うのではなく、国はアドバイザー役に徹するべき、あるいは既に活発に活動している自治体やNPOに移管すべきといった意見があった。以上を踏まえてWGの結論としては廃止としたい。ここには、公開プロセスに出席したメンバーもいるということも踏まえ、大変重たい結論であると認識していただきたい。</p>			

※平成22年度実績を記入

環境省
53百万円

事業の委託元であり、我が家の環境大臣事業として発生する一切の事務等の全体統括を行う。



【一般競争入札・請負】

リトルスタジオインク(株)
53百万円

我が家の環境大臣全国事務局を運営、環境家計簿等の提供・普及、エコライフに関するアイデア情報等交流の場の提供、優れた活動を行っている家庭や企業等の取組を紹介するなどの業務を

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	リトルスタジオインク(株)	53			
計		53	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	リトルスタジオインク(株)	我が家の環境大臣全国事務局運営業務	53	2	96%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					